

施設名	青梅市図書館(中央1館・分館9館)		
指定管理者名	TRC・オーエンス青梅グループ		
指定管理期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	担当課	社会教育課
設置目的			

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	協定書に基づき、施設設備の管理を適正に実施している。 職員配置表については期日までに提出し、定められた司書率を維持している。	A	施設については、日常・定期清掃により清潔な状態に保っている。 人員配置は、協定等により定められた方法で予定と結果が報告され、司書率も協定等のおおりになっている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	期限が決められている報告等については、その期限内で報告、連絡を実施した。	A	定められた期間での報告および連絡がされている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	・協定書 ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・ヒアリング	A	管理区域内での安全性を第一とし、不具合等が発生した場合は速やかに責任者に報告する態勢としている。	A	管理区域内の通路等の整理がされており安全が確保がされている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	・ヒアリング	A	個人情報保護に関しては常に留意し、プライバシーマーク研修を、年に一度スタッフ全員が必修の研修として実施し、意識を高めている。	A	個人情報のある書類や情報を厳重に管理し、職員研修を実施するなど個人情報保護対策が徹底されている。委員会への報告も適切になされている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	・ヒアリング	A	日付け別の業務日報や、各種報告書は遺漏なく作成し、年度別に保管している。	A	日報や業務に関わる記録は、施錠できるキャビネット内に整理し、保存している。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	・危機管理マニュアル	A	緊急体制に臨む際の緊急連絡網を作成し、緊急時には危機管理マニュアルに則った運用を心掛けている。	A	緊急時の体制を確立し、対応マニュアル整備し、提出している。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	・危機管理マニュアル ・連絡調整会議資料	A	消防訓練を年に2回実施しており、緊急体制に備えている。	A	防災訓練(年2回)を実施していることを確認した。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	・連絡調整会議資料 ・事業報告書 ・ヒアリング	A	備品を適切に管理し、修繕が必要な破損については措置を施している。大規模な場合は担当課に報告している。	A	備品等の破損は見られない。 連絡調整会議で、必要な報告がなされている。また、軽微な修繕に対し仕様書のおおりに対応している。	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	事業計画に則ったサービスの提供を実施し、事前に企画書を明示し、終了後には報告書を提出している。	S	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、計画事業の一部中止もあったが、7月から再開し、事業を実施できた。また、中央図書館年末閉館試行(12/29)を実施し、利用者から好評を得た。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書	A	新型コロナウイルスの影響で、一部事業で参加人数を縮小して実施したが、7月以降は再開した事業もあった。	A	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部サービスや事業の中止や制限を行っていたが、7月から全面再開し、協定書通りの事業を実施し、成果を得た。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	・利用者アンケート	A	利用者に対するアンケートは毎年実施し、公募で実施した事業に関しても会場でアンケートを実施し、後に結果を開示している。	A	中央1/14～1/15、分館1/23～1/29に利用者アンケートを実施し、結果を公表している。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	・利用者アンケート	A	利用者に満足度は、アンケート結果からは95%を超えて得られている。	A	利用者アンケートの「総合的な満足度」(満足およびやや満足の合計)が、中央95%、分館93～100%であった。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	・連絡調整会議資料	A	利用者アンケート等による意見については迅速に対応し、対処結果についても公表している。	A	利用者アンケートや常設の投書等の意見を活かし改善している。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	・連絡調整会議資料	A	館内で行う特集展示等において、市から依頼があった場合は迅速に対応している。	A	市立図書館の設置目的に沿った運営を行っている。また、図書館以外の市の事業に協力している。
その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおおりに実施できたか	・連絡調整会議資料	A	前年、新型コロナ感染症対策で実施できなかった託児サービスについても7月から再開し、その他の提案事業は実施できた。	A	継続提案事業である託児サービスについて、7月から再開し、以降は予定通りに事業を実施している。	
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	・ヒアリング	A	会計に関する帳簿、書類の整備、保存は適切に行っている。	A	管理業務の会計に関わる書類は、施錠できるキャビネット内に整理し保存している。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	・ヒアリング	A	現金の管理は、鍵のかかる金庫を用い、適切に管理し、金庫・キャビネットの鍵は鍵のかかる場所にて管理している。	A	現金等については施錠できるキャビネット内に整理し保存している。カギについても、金庫内に保存し、安全性を高めた管理をしている。
施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	・収支報告(青梅市図書館の事業報告)	A	赤字決算とはなっていない。	A	赤字ではないことを事業報告書から確認した。	

収支状況	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	・第44期事業報告(図書館流通センター)	A	計上利益率はプラスで赤字にはなっていない。	A	経常利益率はプラスになっていることを財務諸表から確認した。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	・第44期事業報告(図書館流通センター)	A	自己資本比率は60%を超えており、借入金に依存した資産構造ではない。	A	自己資本比率が30%以上であることを財務諸表から確認した。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となり、事業継続の安全性に不安がない。	・第44期事業報告(図書館流通センター)	A	流動比率は177%となり、事業継続に問題はない。	A	流動比率が100%以上であることを財務諸表から確認した。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評点	数	S	0	A	21	B	0	C	0	<p>記入欄</p> <p>令和3年度から引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、図書館の行事については、提案事業の託児サービスは6月まで休止を余儀なくされたが、7月からは再開の運びとなった。コロナ蔓延期に始めた「ひとりじめおはなし会」については、そのまま定着し、各回に必ず予約が入って実施するまでになった。</p> <p>前年まで中止となっていた古典朗読会は3年ぶりの再開ができたし、活動を中止していた整架ボランティアについても市民の皆さんに呼びかけをして、再開できた。</p> <p>コロナの規制は少しずつ解除されてきており、本格稼働に向けて舵をきる年度となった。</p>
評点	数										
S	0										
A	21										
B	0										
C	0										

2 市の評価、意見等

<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	評点	数	S	1	A	20	B	0	C	0	<p>記入欄</p> <p>連絡調整会議を毎月実施できた。また、日頃からコミュニケーションがとれ、日常の意思疎通および情報共有ができています。</p> <p>人材育成に努め、職員の研修や教育(新人研修、レファレンス研修、学校司書研修等)を行い、能力向上に努めている。</p> <p>提出文書等について、期限内に提出できている。なお、昨年度に指摘した文書の正確性については改善されてきている。さらに努力を願いたい。</p> <p>図書館資料の選書について選書会議を必ず実施し、資料収集基準等にもとづき管理している。</p> <p>年間を通し、新型コロナウイルス感染症のため計画通りに実施できなかった事業もあったが、実施できた事業は成果を得ている。</p> <p>また、市からの提案である中央図書館年末開館試行実施について柔軟に対応し、4年度も開館できている。</p>
評点	数										
S	1										
A	20										
B	0										
C	0										